



NISSIN SERVICER IR PERSONALITY

vol. **6**

第6期
第1四半期報告書

平成18年4月1日▶平成18年6月30日



ニッソコ債権回収株式会社

順調な債権回収の進捗と、共同買取業務等による収入の



社長挨拶

代表取締役社長兼執行役員

あまの かずまさ
天野 量 公

■ ご挨拶

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、第6期第1四半期報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

おかげさまで、当第1四半期における当社グループは、順調な債権回収の進捗と共同買取業務等による収入の増加により、前年同期を大幅に上回る実績を計上することができました。また、本年8月より経営の意思決定の迅速化、業務執行の効率化、責任と権限の明確化を目的として、執行役員制度を導入いたしました。今後も株主の皆様のご期待にお応えできるよう、コーポレートガバナンス・コンプライアンス体制の強化とともに着実な利益成長を目指してまいりますので一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 連結業績概要

当第1四半期連結会計期間の債権買取額（投資額）は873,740千円（前年同期比65.6%減）、買取債権（残高）は23,071,365千円（同62.4%増）

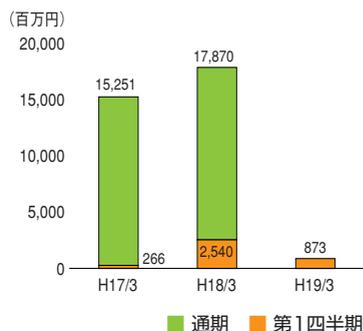
となりました。また不動産買取額（投資額）は1,377,874千円（同59.5%増）、買取不動産（残高）は7,465,487千円（同762.4%増）となりました。

営業収益につきましては、効率的な債権の管理回収により買取債権回収高は2,956,940千円（前年同期比62.2%増）、買取不動産売却高は39,769千円（同95.2%減）、債権共同買取業務等によるその他収入は349,462千円（同89.3%増）となり、合計では3,346,171千円（同18.3%増）となりました。

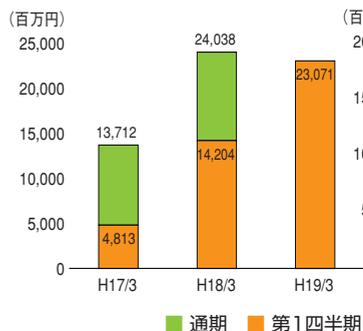
営業費用につきましては、買取債権回収高の増加に伴い債権回収原価は1,614,443千円（前年同期比35.7%増）、不動産売却に伴う買取不動産売却原価は38,748千円（同94.2%減）となり、その他5,354千円（同70.8%増）を合わせ、合計では1,658,547千円（同10.7%減）となりました。この結果、営業総利益は1,687,624千円（同73.7%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、主に給与手当139,601千円（前年同期比34.7%増）、貸倒関連費用231,123千円（同5.2%減）等を計上し、合計622,580千円（同12.6%増）となりま

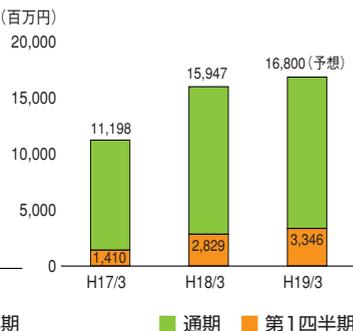
■債権買取額（投資額）



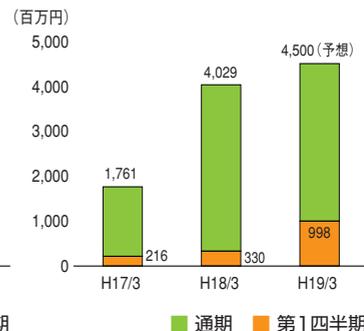
■買取債権（残高）



■連結営業収益の推移



■連結経常利益の推移



増加により利益が拡大。

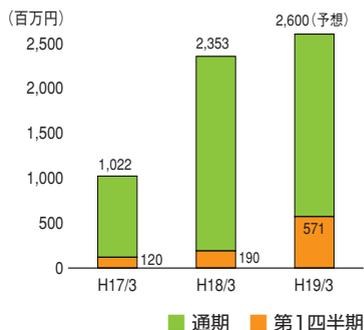
した。この結果、営業利益は1,065,043千円（同154.6%増）となりました。

営業外収益は、匿名組合出資収益57,578千円他合わせて76,687千円となり、一方営業外費用につきましては、主に資金調達拡大に伴う支払利息134,969千円（同69.5%増）等により、143,091千円（同60.4%増）となりました。この結果、経常利益は998,640千円（同202.5%増）となり、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額を合わせて427,606千円（同206.2%増）を計上したことにより、第1四半期純利益は571,034千円（同199.8%増）となりました。

■ 通期の見通しについて

当第1四半期の業績につきましては、概ね当初計画どおりに推移しているため、連結・個別ともに平成19年3月期の業績予想（中間・通期）の修正はありません。なお通期の予想数値につきましては、下欄のグラフをご参照下さい。

■ 連結四半期（当期）純利益の推移



■ 組織変更および執行役員制度導入

当社は、平成18年8月1日をもって、組織変更を実施いたしました。

営業の多様化と充実、業務効率の向上を図るために、「営業部」に「事業開発部」を統合し、金融機関に向けた営業活動と事業再生関連業務を一元化いたしました。さらに、経営の統合調整を行う「経営企画部」とバックオフィス業務全般を行う「総務部」を統合して「経営管理部」を新設いたしました。

また当社は、コーポレートガバナンス体制強化の一環として、経営における迅速な意思決定と効率的な業務執行を実現し、責任と権限の明確化を図るために、同じく平成18年8月1日をもって、執行役員制度を導入いたしました。

導入に伴う取締役の異動と執行役員の選任については、当冊子裏表紙に記載する役員欄をご参照下さい。

■ 取締役・従業員等に対するストックオプション発行

当社は、当社取締役および従業員等の業績向上に対する意欲や士気を高め、株主価値の拡大を図ることを目的として、平成18年8月23日を割当日とするストックオプション（新株予約権）を発行いたしました。

なお、新株予約権の行使価額は、当社普通株式の7月の平均終値の役員は1.5倍、従業員等は1.3倍、または8月23日発行日の終値の何れが高い価額としており、行使期間は、平成18年9月1日から平成23年8月6日までとしております。

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度末 (平成18年3月31日現在)	当第1四半期連結会計期間末 (平成18年6月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	32,917	34,172
現金及び預金	3,191	4,031
買取債権	24,038	23,071
買取不動産	6,126	7,465
繰延税金資産	720	552
その他	632	850
貸倒引当金	△1,791	△1,799
固定資産	7,985	6,531
有形固定資産	25	29
無形固定資産	8	7
投資その他の資産	7,951	6,494
資産合計	40,903	40,704
【負債の部】		
流動負債	19,781	20,241
短期借入金	8,290	9,472
1年内返済予定長期借入金	8,993	9,767
1年内償還予定社債	60	60
未払法人税等	1,385	269
賞与引当金	—	23
役員賞与引当金	—	2
その他	1,051	645
固定負債	14,472	13,661
社債	90	90
長期借入金	14,382	13,571
その他	0	0
負債合計	34,254	33,903
【少数株主持分】		
少数株主持分	—	—
【資本の部】		
資本金	1,695	—
資本剰余金	1,481	—
利益剰余金	3,472	—
資本合計	6,649	—
負債、少数株主持分及び資本合計	40,903	—
【純資産の部】		
株主資本	—	6,801
資本金	—	1,719
資本剰余金	—	1,506
利益剰余金	—	3,575
評価・換算差額等	—	△0
繰延ヘッジ損益	—	△0
少数株主持分	—	—
純資産合計	—	6,801
負債及び純資産合計	—	40,704

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 営業資産について

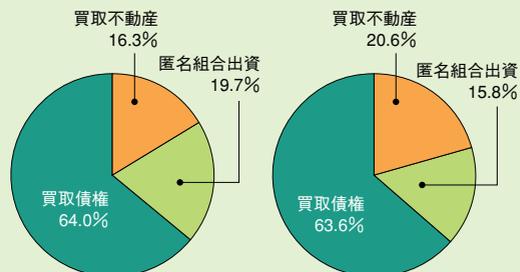
買取債権および匿名組合出資金の回収が進捗したことから、当第1四半期の営業資産は前期末に比べ微減しております。

H18/3

合計 37,589百万円

H18/6

合計 36,259百万円



(注)投資その他の資産のうち匿名組合出資の金額は、H18/3 7,424百万円、H18/6 5,722百万円です。

■ 有利子負債について

当第1四半期の有利子負債合計は、32,961百万円、期末加重平均調達金利は2.0%となりました。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

区 分	前第1四半期連結会計期間 (自 平成17年4月 1日 至 平成17年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (自 平成18年4月 1日 至 平成18年6月30日)
営業収益	2,829	3,346
買取債権回収高	1,822	2,956
買取不動産売却高	822	39
その他	184	349
営業費用	1,858	1,658
債権回収原価	1,189	1,614
買取不動産売却原価	665	38
その他原価	3	5
営業総利益	971	1,687
販売費及び一般管理費	553	622
営業利益	418	1,065
営業外収益	1	76
営業外費用	89	143
経常利益	330	998
税金等調整前第1四半期純利益	330	998
法人税、住民税及び事業税	100	259
法人税等調整額	39	167
第1四半期純利益	190	571

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 営業総利益について

主な内訳は以下のとおりです。

買取債権回収益	1,342百万円
不動産売却益	1百万円
匿名組合出資収益	224百万円

■ 主要な経費について

① 給与手当139百万円

管理・アセットマネジメント部門を中心に人員が増加しております。

従業員数 H17/6 62名→H18/6 78名

② 貸倒関連費用231百万円

担保付債権の増加により、引当率は低下しております。

貸倒引当率 H17/6 9.7%→H18/6 7.8%

■ 支払利息について

有利子負債の増加に伴い、支払利息は134百万円（前年同期比69.5%増）となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前第1四半期連結会計期間	当第1四半期連結会計期間
	(自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)	(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,240	△ 1,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,403	1,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,403	1,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増加額（△は減少額）	△ 1,240	1,216
現金及び現金同等物の期首残高	3,006	2,264
現金及び現金同等物の第1四半期末残高	1,766	3,480

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業活動によるキャッシュ・フローについて

主に買取債権の純減額が740百万円（前年同期比1,399百万円減）、買取不動産の純増額が1,340百万円（同1,168百万円増）、法人税等の支払額が1,361百万円（同760百万円増）となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローについて

主に分配金の受取により匿名組合出資金の純減額が1,976百万円（前年同期比3,371百万円減）となったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローについて

主に短期借入金の純増額が1,181百万円（前年同期比561百万円増）となったことによるものであります。

四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期連結会計期間（平成18年4月1日から平成18年6月30日まで）

(単位：百万円)

	株主資本				評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	繰延ヘッジ損益		
平成18年3月31日現在	1,695	1,481	3,472	6,649	—	—	6,649
第1四半期連結会計期間中の変動額							
新株の発行（新株予約権の行使）	24	24	—	49	—	—	49
剰余金の配当	—	—	△ 439	△ 439	—	—	△ 439
役員賞与	—	—	△ 28	△ 28	—	—	△ 28
第1四半期純利益	—	—	571	571	—	—	571
株主資本以外の項目の第1四半期連結会計期間中の変動額（純額）	—	—	—	—	△ 0	—	△ 0
第1四半期連結会計期間中の変動額合計	24	24	102	152	△ 0	—	151
平成18年6月30日残高	1,719	1,506	3,575	6,801	△ 0	—	6,801

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 「日経IRフェア2006夏」に参加

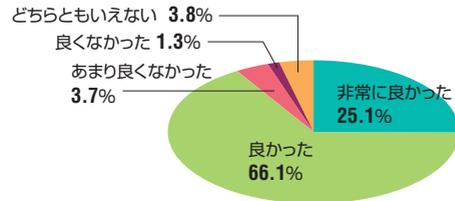
当社は、平成18年7月21日（金）～22日（土）東京ビックサイトにて開催された「日経IRフェア2006夏」に親会社ニッシンとともに参加いたしました。なお、日本経済新聞社主催の個人投資家向けIRフェアに参加するのは今回で3度目になります。当日は、出展企業約100社、来場者数も15,000人を越える大規模なイベントとなりました。当社は、代表取締役社長による会社説明会を開催し、会社概要および業績見通し等についてご説明させていただき、また、個別ブースにおいては多数の個人投資家の皆様にお立ち寄りいただき、意見交換させていただきました。今後も引き続き個人投資家の皆様に対するIR活動を積極的におこなってまいります。



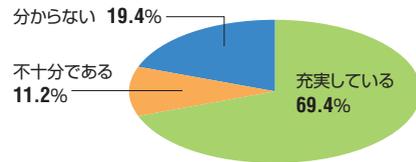
多くのご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

本誌前号（第5期事業報告書）において実施させていただいた株主様アンケートに、平成18年8月31日現在885通のご回答をいただきました。誠にありがとうございました。

今回の事業報告書をお読みいただき、どのような感想をお持ちになりましたか？



ニッシン債権回収の情報開示についてどのような感想をお持ちですか？



☆株主様アンケートにご協力をお願いいたします。

当社では、本誌「IR PERSONALITY」を株主の皆様と当社を結ぶコミュニケーションツールとして活用してまいりたいと存じます。同封のアンケート葉書を通じて、株主の皆様のご意見をお寄せ下さい。お寄せいただいた内容は、今後の経営および「IR PERSONALITY」の誌面作成に活かしてまいります。

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で1,000名様に図書カード（500円）を進呈いたします。

（締切：平成18年10月31日（火）当日消印有効）

☆個人情報の取り扱いについて。

当アンケート葉書にご記入いただきました個人情報については、その使用目的を次の3つの事項に限定し、他の用途に使用することは決まてございません。

また、情報の管理については十分に注意いたします。

- ① アンケートご回答の分析
- ② 図書カードの送付
- ③ 個人株主様あてIR活動に関するお知らせの送付

会社の概要

(平成18年6月30日現在)

商号	ニッシン債権回収株式会社 (NISSIN SERVICER CO., LTD.)
設立	平成13年7月11日
本社	東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル8F TEL.03-5326-3971(代表)
営業許可	平成13年10月25日(法務大臣許可番号第58号)
資本金	17億1,982万5千円
従業員数	78名

役員

(平成18年8月1日現在)

代表取締役社長兼執行役員	天野 量公
常務取締役兼執行役員	合田 益己
取締役	清水 克敏
取締役兼執行役員	豊嶋 秀直(弁護士)
取締役	崑岡 秀夫*1
常勤監査役	新名 忠矩
常勤監査役	森田 昌弘
監査役	吉本 修二*2
監査役	山田 啓之*2

*1 取締役崑岡秀夫は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

*2 監査役吉本修二および山田啓之は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員	森泉 浩一(アセットマネジメント部長)
執行役員	山口 達也(経営管理部長)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 中間配当 9月30日 期末配当 3月31日
株式の売買単位	1株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒135-8722 東京都江東区佐賀1丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324
同取次所	みずほ信託銀行株式会社全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社本店 および全国各支店
公告の方法	電子公告により行います (http://www.nissin-servicer.co.jp/)

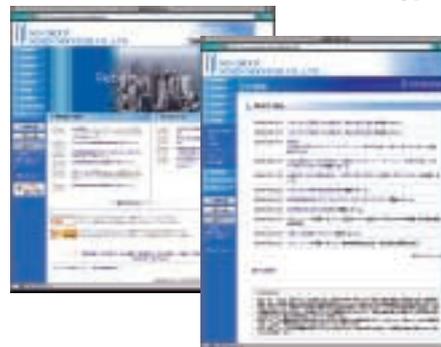
関係会社一覧

(平成18年6月30日現在)

連結子会社	有限会社ジェイ・ワン・インベストメンツ 有限会社ミヤコキャピタル 有限会社ジェイ・ツー・中国投資 他4社
関連会社	有限会社シー・エヌ・キャピタル 有限会社シー・エヌ・ツー 有限会社シー・エヌ・スリー 有限会社シー・エヌ・フォー 有限会社シー・エヌ・インベストメンツ 三洋パシフィック投資顧問株式会社
親会社	株式会社ニッシン (ニューヨーク上場NIS・東証一部8571)

ホームページ

<http://www.nissin-servicer.co.jp/>



[将来予測に関する記述について] 本資料には、当社グループの意図、信念、現在および将来の予測、または連結、個別の業績、財務状況に関する経営陣の意図、信念、現在および将来の予測に関する記述が収録されており、記載されている歴史的事実以外の将来に関するすべての記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であります。かかる将来予測に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、潜在的なリスクや不確実性を伴うものであり、実際の業績はさまざまな要因により将来予測に関する記述とは大きく異なる可能性がありますのでご留意下さい。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要なかつ予測不可能な影響も含まれます。